

富良野市の資源化の取り組み②

空き缶・金属類

収集した空き缶・金属類は有価物として売却します。その後、缶や鉄骨の材料として資源化されます。



168.6 t /年
(平成 27 年度)



回収業者へ
引き渡し

売却金額
約 141 万円

(平成 27 年度)

空きびん 陶磁器・ガラス

収集した空きびんはびんの原料や道路の材料として利用されます。陶磁器・ガラスなどリサイクル困難物は、埋め立て処分します。



408.2 t /年
(平成 27 年度)



中富良野町
資源回収センター
※異物などを取り
除いて出荷



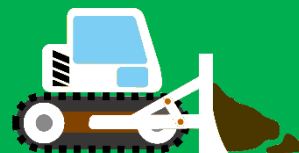
びんや道路の材料として出荷
310.3 t /年

(平成 27 年度)

※前年度残も含めて出荷している
ので、収集量と異なります。



富良野市
リサイクルセンター



92.5 t /年

(平成 27 年度)

新聞・雑誌類

収集した新聞・雑誌・ダンボール・紙パックは有価物として売却します。その後、再生紙などの原料として利用されます。



360 t /年
(平成 27 年度)



回収業者へ
引き渡し

売却金額
約 265 万円

(平成 27 年度)

